



東山小学校だより

令和 元年5月10日

※ 町内配付5月10日

教育目標 「心豊かに たくましく 自ら学ぶ 東山の子」

令和元年「牛の角突き初場所」!!!

先の学校だよりでお伝えしたとおり、今年も初場所に全校児童で参加させていただきました。当日は気温はさほど高くはなかったものの、初夏を思わせるような日差しの快晴でした。

子どもたちは平常どおりに登校。1時間目に「闘牛の歌」の練習をし、法被の準備をして闘牛場に向かいました。闘牛場に到着してまずは清掃活動。その後学級ごとに闘牛の見学やインタビュー活動をしました。子どもたちが法被を着て様々な活動をしている姿はなかなか良いものです。

八番目だった牛太郎の取組はさておき、平澤実行委員長さんの計らいで、「闘牛の歌」は多くのお客さんに見ただけの「中入り」での発表となりました。天候に恵まれた10連休の最中…すごい数のお客様の入りに「大丈夫だろうか」とこっちが心配になりましたが、子どもたちは物怖じせず発表し、大きな拍手をいただきました。ただ、子どもたちは頑張っていたものの、屋外では音の反響がないのでボリューム不足が否めず、6月場所からはマイク使用もアリ…でしょうか。



さて、初場所での私(丸山)の一つの気づきは清掃活動(観客席の雑巾がけ)の場面がありました。さすがに一冬越した観客席の汚れはひどく、雑巾はすぐに真っ黒になります。ところが、子どもたちは^じ扱き洗いと雑巾しぼりが上手くできません。校舎の清掃では扱き洗いが必要なほど雑巾は汚れません(汚れがひどくなくても雑巾は^{すす}扱いて濯ぐものだと思いますが…)。そもそもティッシュやウエットティッシュが当たり前の時代ですから、子どもたちは家庭でもあまり雑巾を使うことがないのかもしれませんが。様子を見てみると、ちょっと水に雑巾を浸して真っ黒い水が出るまま拭き始める子もいました。今回は見かねた職員が雑巾を濯いでやっていたのですが、今後授業として活動していく中で、こんなこともしっかりとできるようになってほしいと思いました。そして上級生が下級生にやってあげたり教えてあげたりするような、一つの学校文化になると良いなと思います。

実は、今年から授業として角突きに参加することにはこのような意味があります。「総合的な学習の時間」の授業として、地域の文化である「闘牛」や「角突き」のことを学ぶだけが『目的』ではありません。学校外の多くの人との触れ合いを通じて、「あいさつ・コミュニケーション能力」や「聞く力・話す力」「思考力・判断力」「表現力」「感性」、様々なことへの「対応力」や「技能」、そして「度胸」なども高め、培ってほしいと思うのです。

闘牛場から学校に戻り、先生方からの申し出によって、予定していなかった反省検討会を全職員で行いました。授業日として参加していく上で、改善すべきことをたくさん検討しました。私が雑巾がけで気づいたように、職員各々もたくさんの気づきがあったようです。個人的には、現地で児童全員が解散しないため、結びの方の取組が見られなくなったのが残念です…。

ともあれ、きちんとした学校の教育活動として通年参加させていただく「闘牛活動」の、上々の滑り出しとなった初場所でした。闘牛振興協議会の皆様をはじめ、関係者の皆様に深く感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。



ようこそ1年生…「1年生を迎える会」

4月26日(金)の3時間目に「1年生を迎える会」がありました。5年生にエスコートされて入場した1年生が、一人ずつ台の上で決めポーズをしてクラッカーの祝福を受けて会が始まりました。

まずは5,6年生のリードによる全校一人ずつの「自己紹介」。1年生がクジを引いて、名前が出た3~6年生が一人ずつ台の上で自己紹介をします。とても良かったのは、当日欠席していた子の名前が出ると、その場で誰かが欠席している子に扮して自己紹介をしたことです。ちょっと声色や口ぶりや仕草を真似したりしていました。途中からは先生方の名前もクジも加えられ、その場にはいない先生方の代理まで登場して、とても楽しい雰囲気になりました。最後は1年生が一人ずつ立派に自己紹介をしました。次は3,4年生の「東山小学校紹介クイズ」。楽しそうに答えている1年生を先輩らしく見守る5,6年生の姿がまた微笑ましかったです。最後は得意の「くす玉セレモニー」と集合写真の撮影を行い、心温まる1時間を過ごしました。

昨年は新入生がいなかったもので、私にとっては初めての「1年生を迎える会」でした。一昨年までとプログラムや様子は大きく変わらないのかもしれませんが、6年生のリーダーシップの下、様々な工夫が盛り込まれていることは、容易に想像がつかしました。1年生への歓迎の気持ちと思いやりにあふれる、楽しく素敵な一迎会でした。



第1回 避難訓練

今年度1回目の避難訓練を昨日行いました。今回は校舎内に計6箇所ある防火シャッターと防火扉を作動させて避難してみました。実際に火災が起こったときには延焼や煙の流れを遮るため、防火シャッターや防火扉が自動的に閉まる訳ですが、閉まったその場に行ってみると、ふだん見慣れている校舎が全く違って見えます。今回は閉まった状態を児童に見せると共に、脇にある避難扉を使って避難することを体験させたいと考え実施しました。



消防署員さんからの講評で、真剣な態度やハンカチを使っていたことをほめていただきました。その後、消防車の放水を見学し、消火器の使い方を水消火器を使って体験し学びました。特に低学年の児童にとっては、重くてやや扱いが難しい消火器…とても良い体験ができました。

運動会(5月25日・土)に、おいでください!

スローガンも決まり、運動会に向けて活動が本格的になってきました。今年は大変な連休中の登校日が多かったため準備の遅れが心配ですが、連日実行委員会を開いて準備を進めているところです。

今年の運動会は、例年にもまして地域の皆様に楽しんで参加してもらおうと子どもたちははりきっています。具体的には、これまでなかった入場行進を行うことや、児童の赤組・白組とは別に応援団を組織して、地域の方の競技を応援すること。また、全校発表の「錦鯉の歌(錦鯉の舞)」の振り付けを新たに自分たちで考えることなど、より子どもたちのアイデアが反映された運動会になりそうです。

詳しくは「東山月報」に綴じ込みを入れていただきましたので、そちらをご覧ください。ぜひ多くの皆様からご参加・ご参観いただきたいと思います。